



ひまわり福祉会だより

発行所 社会福祉法人 ひまわり福祉会

令和7年1月
第**39**号

〒761-4122
小豆郡土庄町上庄463-2
TEL: 0879-62-4636
FAX: 0879-62-4650

URL: <http://www.himawari-olive.jp>

令和7年も明るく笑顔で頑張ります!!



みんなそろっての記念撮影 (ひまわりの家建物前にて)



余島デイキャンプ
(すくすく教室の集合写真)



クリスマス会
(ステージの集合写真)



地域交流もちつき大会
(食堂にて)

令和7年には、新グループホームソレイユBを創設して、令和8年度当初の事業開始に向けて全力で邁進しなければなりません。そのような中、ひまわり福祉会が一步一步着実に歩み、島民の皆様方の信頼を確実に得られるように職員一同が協力して前進してまいりますので、これまで以上のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、島内においては、4月に生活介護事業所、10月に就労継続支援B型事業所が新たに設立されました。このことは、利用者さんやそのご家族にとっては、選択肢が増えて安心した生活につながる好ましいことであると考えられています。ひまわり福祉会にとっては、よい刺激となり、障害福祉サービスの在り方を見直して、さらに一層よりよい支援を探索して、より信頼される事業所を目指す機会となったと考えております。

令和6年の年末には、5類に移行された新型コロナウイルスと、久し振りに感染急拡大したインフルエンザウイルスの猛威に脅かされました。また、昨年中は、前日まで元気に通所されていた利用者さんの突然の逝去や転倒による利用者さんの骨折事故など、大変心の痛む出来事がたくさんありました。

より信頼される
ひまわり福祉会に

社会福祉法人ひまわり福祉会
理事長 橋本 明彦

令和6年のトピックス

高松ORNEでのショッピング

今年度の日帰りレクリエーションは、四年ぶりに生活介護と就労支援B型の合同で島外の高松ORNEへ出掛けました。

行きのフェリー内では、利用者さんは「何を買おうかな?」や「ご飯はどこで食べようかな?」などの会話で盛り上がりつつありました。到着時には、大雨が降っていましたが、三月二十二日にオープンした高松ORNEまで歩いていくことができました。屋外広場で集合写真を撮ってから各グループに分かれて行動しました。高松ORNEや高松駅周辺、兵庫町商店街を笑顔で散策して、昼食はそば屋さんや餃子の王将・ロッテリアなどで外食を楽しんでいました。

ショッピングでは、家族への土産を職員と相談して購入したり、自分への褒美にクレープやドーナツなどを一生懸命に選んで購入したりしていました。

帰りのフェリー内では、利用者さん同士でそれぞれが購入したものを見せ合いながら、昼食に何を食べたのかを報告し合っていました。久し振りの島外へのお出掛けでしたが、大きなトラブルやケガがな

かっただけでなく、多くの満面の笑顔が見られた日帰りレクリエーションになったことをとても嬉しく思っています。

今後コロナ禍で縮小していた行事をさらに工夫して、利用者さんご家族の方が一緒に笑顔で参加できるように行事にするために職員一同努力しますので、今後ともよろしく願います。

(生活支援員 小浦嘉也)



高松ORNEでの集合写真



好きなドーナツ選び

地域での新たな作業活動

就労継続支援B型では、今年度宝生院の特別天然記念物であるシンパク周辺の清掃とひまわり農園で栽培した野菜の販売を新たに始めました。

宝生院の住職さんから「ぜひ利用者さんにシンパク周辺の清掃をお願いしたい」という有難いお声掛けをいただきました。利用者さんは掃き掃除、草抜き、庭木の手入れ等、様々な清掃作業に一生懸命に取り組んでいます。宝生院はひまわりの家の真下なので、作業が大変スムーズに行えています。ひまわり商品の看板も置かせてもらって、観光客の方にオリーブオイルやいちごジャムを購入してもらうこともできました。

野菜栽培にも力を入れたいと考え、ひまわりの家の正面の川を挟んだ所にあった「ひまわり農園A」だけでなく、新しく耕作放棄地であった宝生院の東側の畑を「ひまわり農園B」にするために、利用者さんが力を合わせて開拓しました。一つの農園で四季折々の野菜を計画的に栽培して販売できるようになりました。ここ数年の異常気象のため、野菜の値段が高騰しています。そのため、安全で安価なひまわり農園の野菜をぜひ購入してください。お手ごろな値段で販売していますので、

ぜひご連絡をお願いします。

新たな作業は利用者さんによい刺激になり、外作業にあまり興味をもちたり、宝生院の景観を自らの手で美しくできる喜びを感じたりしています。今後も地域の方々や保護者の皆さんと寄り添えるような活動をしていきたいと思っています。

(職業指導員 田中秀輝)



ひまわり農園での農作業

宝生院での清掃作業

障害福祉サービス事業所 ひまわりの家

生活介護事業

今年度の小豆郡手をつなぐ育成会の「福祉ふれあいの集い」は、初めてふるさと村のイベント広場で開催されました。これまでの屋内での開催とは一味違い、屋外での開放的な会場とあって、気分もワクワク。

参加した各施設の趣向を凝らした出し物で楽しいひと時を過ごし、生活介護の出し物「ツツピンとびうお」ダンスも大反響でした。毎年、あすなろの家の太鼓を楽しみにしており、みなさんが良い表情で太鼓を叩かせてもらいました。シャボン玉やボールで遊べる準備もしてくれていたもので、童心に返って大はしゃぎでした。

また、食べ物のお店もあり、持参したお弁当の他に、ミニお好み焼きやミニタイ焼き等に舌鼓を打ち、大満足でした。

今回のプログラムで、ひまわりの家の利用者さんが最も楽しみにしていたイベントが、紙飛行機ワークショップです。ふれあいの集いの前の土曜日プログラムで一度腕前を試していたこともあって、やる気満々。思い思いの絵や飾りをつけた紙で紙飛行機を折って飛ばしました。その光景はAK

B48の「365日の紙飛行機」を彷彿させるものでした。

この歌になぞらえて私たち生活介護でも、

「その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか? それが一番大切なんだ さあ心のまに」

という気持ちで利用者さんの笑顔とともに。

飛んでいけ! 飛んでみよう!
(生活支援員 砂子さおり)



生活介護の出し物
とびうおツツピンピン♪



紙ヒコーキ飛ばし
遠くまで飛んでいけ!

就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業では、二十七名の利用者さんと九名の職員が毎日様々な作業を頑張っています。主な作業は、オリーブの育成・管理、自社の搾油機で製造したオリーブオイルの販売を行っています。その他に八幡宮や宝生院の清掃、空き缶の回収・選別、オリジナル商品製作、依頼された箱折り・梱包などの受託作業があります。利用者さんは一人一人障害の種類や程度が異なっているため、特性や能力に合わせた作業を行うことで、仕事に対する自信や意欲の向上につながっています。

今回は人気のある作業であるオリーブの育成・収穫・選別から商品となるオリーブオイル、新漬けまでの工程と、商品販売までの工程で利用者さんがどのように関わっているのかを紹介します。

オリーブの育成では、年間計画に基づいて作業内容を決めていきます。利用者さんの特性だけでなく、日々の体調や状態の変化に合わせたケアを行うことでストレスなく農園へ出向き一生懸命に作業に取り組めるようにしています。剪定が得意な人、機械が上手く使える人、草抜きが好きな人、収穫と選別が好きで炭疽病や虫食いを見つけたのが得意な人等、それぞれの特性は様々です。

九月の下旬から十月の中旬まで

に収穫できた果実を新漬けにします。それ以降に収穫できた果実はオリーブオイルにして充填・商品化をします。異物のチェックや瓶拭き、ラベル貼り等を行って、完成した製品を島内だけでなく全国のお客様にお届けしています。

また、島内のフレトピアフェアや土庄町人権フェスタなどのイベントで店頭販売も行っています。利用者さんが店頭に立ち、自分たちが作ったオリーブ製品やオリジナル商品の座椅子、ちよいかむり、マット、ヘアピンなどを元気にアピールして販売しています。

今後も多くの催し物に参加してひまわりの家の活動を発信しますので、応援をよろしく願います。

(生活支援員 大川晴美)



オリーブ収穫



イベントでの店頭販売

障害児通所支援事業所 すくすく教室

すくすく教室は、乳幼児期から学童期までの障害等によって発達の気になるお子さんを対象に、困りごとを少しずつ解決していくために、一人一人の特性に合わせた支援を行っています。

私は、今年度からすくすく教室の児童指導員として、お子さんの療育に携わっています。最初は自分に務まるのかどうか不安でしたが、お子さんやその保護者の皆さん、職員の方々が温かく迎えてくださったので、やりがいをもって仕事に取り組んでいます。

『すくすくキッズ』では、就学前のお子さんが、運動や自由遊び、制作活動を通して集団での経験を積み、コミュニケーション能力や社会性を高めていくように支援しています。少しでも苦手意識を克服し、得意なことをさらに伸長することで自己肯定感を高め、就学に向けての準備をしています。

『放課後デイサービス』では、下校後のお子さんが、宿題や個別支援計画にそった課題（五十音並べ、紐通し、パズル等）に取り組んでいきます。自由遊びの後には全員が参加できる集団活動（アクティビティ・ボール遊び・簡単なゲーム・音楽遊びな

ど）を毎日職員が企画して、楽しく仲間と活動する時間を設けています。職員が手作りしたペットボトル輪投げや空き缶釣りなど、温かく楽しいゲームに大盛り上がりです。本年度一番の人気のアクティビティは、フィンランド発のユニバーサルスポーツの「モルック」です。床に並べた複数のピンの棒を投げて、モルックという棒を投げ、倒したピンの数などで獲得した点数を競うスポーツです。

月2回の土曜日には、平日にはできない行事をしています。『わいもクラブ』では制作や外遊びを中心とした活動を、『スポーツ教室』では障害者スポーツ指導員の宮下先生が運動機能向上を目的として一人一人に合った指導をしてくださっています。季節毎の行事では、夏は納涼大会で歌やダンスを披露したり、余島でデイキャンプをしたり、秋は寒霞溪ハイキング、冬はクリスマス会などの活動をしています。さらに、年間を通して、園や学校を訪問させていただいたり、園や学校の先生にすくすく教室を見学していただいたりするなど、交流を深めています。

これからも、お子さんが明日も通いたい、保護者の皆さんが明日も通わせたいと思っただけのすくすく教室をめざして職員一同取り組んでいきます。

(児童指導員 石井昌彦)



すくすくキッズ
紙相撲を制作したよ！



放課後デイサービス
アクティビティで万国旗を作ったよ！



わいもクラブ
貯金箱を制作したよ！



地域交流納涼大会
ダンスを披露したよ♪



寒霞溪ハイキング
紅雲亭で記念撮影！



すくすくクリスマス会
おいしいケーキを作ったよ♪

共同生活援助事業所
グループホーム
ソレイユ

今年、グループホームソレイユとして、小豆島町内の福祉関係の施設紹介や作品の展示をする「小豆島町福祉展」に初めて参加することができました。その福祉展に、十二月十四日の土曜日、利用者さんがソレイユの隣の二生公民館講座などで作った作品の展示をするため、みんなでサン・オリーブへ行きました。久々のお出かけなので、みんなで一緒に外食をすることにしました。食べるとおいしいと評判の草壁港にあるうどん店の三太郎にすぐに決まりました。昼食の時間には少し早かったのですが、オープンと同時に店内に入って、天ぷらうどんとお稲荷さんを注文しました。大好きなおうどんを目の前にすると少し興奮している利用者さんもいました。食べ始めるとどの利用者さんも笑顔いっぱいになり本当に満足な様子でした。



利用者さんの作品



小豆島町福祉展での作品展示

ワンプレートと、利用者さんと職員が協力して作った手作りケーキを食べながら、とても楽しい時間を過ごしました。どの利用者さんも食べることがとても好きなので、食を楽しめる行事を、これからは工夫しながら続けていくことができたらいいなと思っています。

いつまでも利用者さんの笑顔がたくさん見られるグループホームソレイユでありたいと強く願っています。
 (生活支援員・世話人 徳本初恵)

短期入所サービス

当施設は、主に知的障害者を対象とした短期入所サービス事業(定員一名)も行っています。介護者の病気等によって自宅で介護できない場合や介護者の休息等を目的に、障害のある方に短期間利用していただく福祉サービスです。利用中は生活支援員が、入浴、排泄、食事等のほか、日常生活上の必要な支援を行っています。

詳細につきましては、グループホームソレイユ
 ☎75-23320 まで
 気軽に連絡・相談をしてください。



手作りケーキによる楽しいクリスマス会

グループホームソレイユBの
開業に向けて

当法人では、土庄町・小豆島町の両町の支援を受けて、令和七年度にグループホームソレイユBを創設して、令和八年度に事業を開始するように進めています。

今年度に入って、淵崎自治会の理解や両町の全面的な協力・支援を得ることができ、土庄町淵崎の小豆島老人ホームおりーぶ横多目的広場での建設がようやく軌道に乗ることができました。

開業に向けて課題はたくさんありますが、今後も引き続きご理解・ご協力をよろしく願います。



グループホームソレイユBの建設予定地

(ソレイユ管理者 若山朋子)

相談支援事業所 きさらら

◇相談支援事業所とは

障害のある人が地域社会で暮らしていく中で、困りごとや悩みの相談に応じ、希望する生活に必要な福祉サービスやその他の支援等が受けられるように支援することを「相談支援」と言います。

「相談支援」は行政の福祉担当課のほか、都道府県が指定する「相談支援事業所」でも提供されます。相談支援事業所では、障害のある人本人だけでなく、その家族等からの相談も受け付けています。

◇相談支援の種類

相談支援事業所が提供している相談支援の内容について、今回は三つに分けて紹介します。

一 基本相談支援

障害のある人の生活に関する様々な課題や将来の暮らしに対する不安など、障害のある人やその家族等からの一般的な相談を受け、必要な情報提供や助言等を行うのが「基本相談支援」です。

基本相談では、相談内容に応じて、「地域相談支援」や「計画相談支援」等、相談者の現状に即した支援へつなげます。福祉サービスを利用しな

い場合も、基本相談支援で対応します。

二 地域相談支援

障害のある人が地域で自立した生活を送るための相談に応じるのが「地域相談支援」です。相談内容や支援内容によって、さらに「地域移行支援」と「地域定着支援」に分けられます。

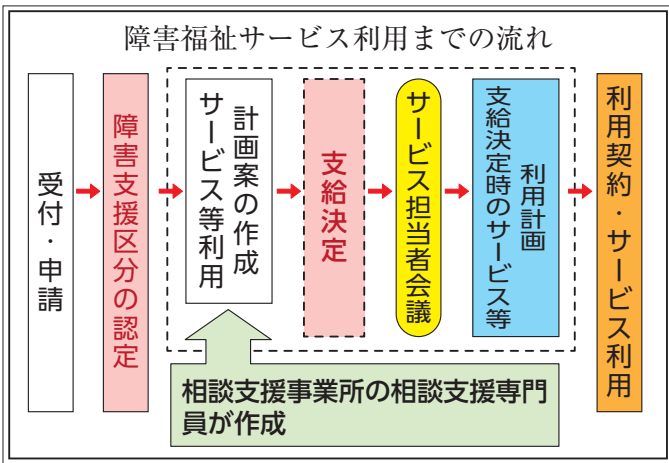
地域移行支援は、障害者支援施設や精神科病院など、特定の施設・病院から退所・退院する方が、自立した地域生活を送るためのサポートをします。(住居支援・福祉サービスの見学等)

地域定着支援は、すでに地域生活を送っている方が、引き続き地域のサポートをします。二四時間三六五日の連絡体制を確保するとともに、緊急事態が発生した場合には迅速な訪問や関係機関との連絡調整等、必要な支援を行います。

三 計画相談支援

(特定相談・障害児相談)

計画相談支援(特定相談・障害児相談)は、障害福祉サービスの利用申請に必要な書類を作成したり、サービスの利用に関する相談に対応したりします。障害福祉サービスを利用中かどうかによって、「サービス利用支援」と「継続サービス利用支援」に分かれます。



サービス利用支援は、サービス利用を希望される方の困りごと等に適した障害福祉サービスを利用するまでの相談支援です。具体的には、利用申請に必要な「サービス等利用計画」の作成やサービスを提供する事業者との連絡調整を行います。

継続サービス利用支援は、障害福祉サービスを利用している方に対して、サービスの内容や量が適切かどうか等を一定期間ごとに検証(モニタリング)し、サービス等利用計画の見直し等を行います。

お困りのこと等がありましたら、きさららまで連絡・相談してください。
【☎(0879)ー62ー5959】
(管理者 中森健一郎)

ひまわり福祉会役員・評議員

理事長 橋本明彦
理事 岡裕

若山朋子
岡野恵美子
石井昌彦
濱口勇
監事 外山洋文
棟保博

(任期・令和五年六月二十五日)
令和七年六月の定時評議会終結まで

評議員 松尾峰生
三木義雄
大谷隆生
新茶善昭
余島邦昭
山口真理子
川田澄子

(任期・令和三年六月十九日)
令和七年六月の定時評議会終結まで

苦情解決委員会

苦情解決責任者 橋本明彦
第三者委員 川井和弘
棟保博
古谷三枝
苦情受付窓口

職員紹介 [自分を動物に例えると]



ひまわりの家

〈理事長〉
橋本明彦
アリのように働くりス

〈サービス管理者〉
谷久香里
ゴロゴロねころぶトド

〈看護職員〉
川中いずみ

〈看護職員〉
坂口満可
うさぎ

〈生活支援員〉
廣瀬孝行
パーニングゴジラ

〈生活支援員〉
砂子さおり
ネコ時々チーター

〈生活支援員〉
小浦嘉也
ニューギニアヒメテング

〈生活支援員〉
那須美貴
ねこ

〈生活支援員〉
船津貴美
カピバラ

〈生活支援員〉
岡本伸一郎
ネコ

〈生活支援員〉
長栄明日香
かば

〈生活支援員〉
大川晴美
豚

〈生活支援員〉
井本博文
マイクロミニアタ

〈職業指導員〉
田中秀輝
カピバラ



就労継続支援B型事業

〈生活支援員〉
池本住代
パンダ

〈生活支援員〉
岡崎照代
ナマケモノ

〈生活支援員〉
三枝篤史
くま

〈職業指導員〉
伊丹正行
カバ

〈職業指導員〉
森口忠幸
ネズミ

〈目標員工質達成指導員〉
中村政彦
カナリア

〈生活支援員〉
城土井進
犬(雑種)

〈生活支援員〉
港博司
犬

〈生活支援員〉
玉楮晶
エナガ鳥



本部

〈常任理事〉
岡コリイ
裕

〈事務職員〉
高橋稔子
コアラ

〈事務職員〉
古谷三枝
白くま

〈清掃職員〉
安西美紀子
うさぎ



すくすく教室

〈管理者〉
中谷多恵子
くま

〈副管理者〉
石井昌彦
牛

〈保育士〉
石床美和子
とら

〈児童指導員〉
笠松浩子
牛

〈児童指導員〉
山下大貴
犬

〈管理者〉
若山朋子
しっぽのないブタ

〈生活支援員〉
壺井千代美
イヌ

〈生活支援員〉
畑井博
ネコ

〈生活支援員〉
大川千賀子
ねこ



グループホームソレイユ

〈生活支援員〉
黒島多賀子
猫

〈生活支援員・世話人〉
下岡和美
うし年だけにうし

〈生活支援員・世話人〉
徳本初恵
噛まないクマ

〈生活支援員・世話人〉
吉元豊美
いぬ

〈生活支援員・世話人〉
日下正美
トド

〈世話人〉
余島千津枝
うさぎ



きらら

〈管理者〉
中森健一郎
小型犬

〈相談支援専門員〉
濱脇広子
カバ

〈相談支援専門員〉
谷口富美
大型犬

貸借対照表

令和6年3月31日現在

社会福祉法人 ひまわり福祉会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	73,447,738	流動負債	17,978,243
現金預金	42,499,162	事業未払金	17,386,855
事業未収金	29,697,542	職員預り金	394,088
商品・製品	987,034	仮受金	197,300
未収補助金	264,000		
固定資産	113,762,257	固定負債	6,268,951
基本財産	28,471,659	退職給付引当金	6,268,951
建物	27,471,659	負債の部合計	24,247,194
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	85,290,598	基本金	71,238,348
土地	95,000	基本金	71,238,348
建物	493,144	国庫補助金等特別積立金	18,994,927
構築物	1,631,827	国庫補助金等特別積立金	18,994,927
機械及び装置	414,454	その他の積立金	65,000,000
車輛運搬具	8,195,296	その他の積立金	65,000,000
器具及び備品	3,110,526	次期繰越活動増減差額	7,729,526
ソフトウェア	50,400	次期繰越活動増減差額	7,729,526
電話加入権	31,000	(うち当期活動増減差額)	-6,289,822
その他の積立資産	65,000,000	純資産の部合計	162,962,801
その他の固定資産	6,268,951	負債及び純資産の部合計	187,209,995
資産の部合計	187,209,995		

※詳しい財務諸表は、ひまわり福祉会のホームページに掲載しています。

【ご寄付】ありがとうございました

(令和6年1月1日～令和6年12月31日) (敬称略・順不同)

中(有)八 藤中九 富岡平山渥小橋濱安岡山半
 イ フ本井富 ま 丘モ 野手美 豆更 本口西野本
 村小木 サ ポ め ームラリサイクルセン ー タ 紀信 護明 正美
 良豆正 ー 義 千 食 ー ス 紀信 護明 正美
 ト 義 千 食 ー ス 紀信 護明 正美
 弘島人(株) 則仁秋堂 (有)裕子彦覚会 彦勇二子エ香

小豆更生保護女性会との交流

毎年、小豆更生保護女性会の方々が利用者さんとともにオリーブの収穫を行っています。一緒に楽しく収穫していただき、とても感謝しています。



編集後記

令和6年は記事でご覧いただけたように、ひまわりの家は4年ぶりに島外への日帰り旅行、すくすく教室は余島デイキャンプやハイキングなどのアクティブな活動が戻ってきた1年でした。納涼大会やもちつき大会などの地域交流行事も盛大に行え、たくさんの地域の皆さんと触れ合うことができました。

編集委員会では、そのような場面での利用者さんのたくさんの笑顔や喜びを感じ取っていただける「ひまわり福祉会だより」の編集を心がけてまいりました。

令和7年もより多くの利用者さんの笑顔に出会い、地域の方々と触れ合える1年であれば願っています。

今後ともひまわり福祉会並びにひまわり福祉会だよりをよろしく願います。

(編集委員 橋本・廣瀬・玉楮・石井・中森・若山)

JA職員さんによるボランティア

JAの職員さんも毎年ボランティアでオリーブ収穫をしてくれています。



ひまわりの家ホームページ
QRコード

